

本道経済の活性化に向けた基本方針の見直しについて

- これまで、「本道経済の活性化に向けた基本方針」（以下基本方針）をベースとして、施策を展開しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本道の各方面で従来の手法や価値観に変化が求められており、「基本方針」もこうした変化に応じたものへと改定が必要。
- この改定に向けては、以下①～③の観点で施策の方向性を検討する必要がある。
 - ① コロナ禍で生じた社会経済環境の変化への対応や新たなビジネスチャンスの取り込みといったウィズコロナ時代の施策の方向性
 - ② コロナ後も経済合理性などによって残る変化を見据え、ポストコロナ時代に向け取り組むべき施策の方向性
 - ③ ①, ②の中で、本道の優位性を生かし、本道が抱える課題の解決につながる分野での施策の方向性（北海道の差別化）

【本道の優位性】 ● 広大な土地・3つの海を背景とした高い食品供給力 ● 優れた自然環境・豊かな水資源と森林 ● アジア・ロシア極東との近さ・地理的優位性 ● 雪や寒さの魅力 ● 豊富で多様なエネルギー ● 厳しい自然条件などのもとで培われた技術 ● 独自の歴史・文化 ● 首都圏との同時被災リスクの低さ

＜考え方のポイント～現行「基本方針」の施策の柱立てごとのアイデア～＞

コロナ禍の影響

1. 世界にはばたく北海道ブランドの発信力強化

食 ・ 外食需要の減少(三密の回避) ・ 対面販売機会減
 ・ 高級食材の活用機会喪失 ・ 密の回避 (非接触)
 ・ 消費需要の変化 など

海外展開 ・ 国際的な渡航制限

観光 ・ 移動抑制等による観光需要激減
 (特にインバウンド)

2. 地域と未来を支える活力ある産業づくり

中小・小規模企業 ・ 外出自粛やイベント中止による客減・収入減
 ・ 感染防止対策による経費増・客数及び収入減
 ・ 営業活動等の自粛による新規需要開拓機会の減少

生産性向上 ・ 経済の縮小に伴う生産需要の減
 ・ 特に海外におけるサプライチェーンの毀損

投資促進 ・ 国際的な渡航制限
 ・ 投資活動の停滞

成長分野 ・ 感染防止製品の需要拡大
 ・ 物流・交通の変化 (非接触、人の動きの制限)
 ・ 事業不振による新規開発の鈍化

3. 地域経済をけん引する人材の育成・確保

人材 ・ 移動の抑制や三密回避による労働環境の変化
 ・ 経営環境の悪化に伴う雇用減 ・ 外国人材不足
 ・ 授業、実習の制限

ウィズコロナ (新たに到来・広まった・早まったもの)

・ 巣ごもり消費 ・ EC
 ・ 外食需要の減退、中食の拡大
 ・ デリバリー・テイクアウト ・ BtoC
 ・ 感染防止対策 ・ オンライン会議 (商談)
 ・ 健康指向

・ 域内循環
 ・ 感染防止対策(新北海道スタイル、業種別ガイドライン)
 ・ 新しい旅行スタイル (新しい旅のIカット、ワークション)
 ・ SNS等を活用したプロモーション(HOKKAIDO LOVE !)

・ 非接触型サービス (オンラインイベント・置き配など)
 ・ 感染防止対策 ・ 経営資金不足 ・ 新事業展開
 ・ オンライン会議・営業

・ サプライチェーン国内回帰
 ・ デジタル化 (シミュレーション開発など)
 ・ 先端技術導入 (ロボット、AI・IoTなど)

・ オンライン会議、VR
 ・ サプライチェーン国内回帰・グローバルな拠点最適化
 ・ データセンターの需要増

・ 感染防止製品市場への参入や増産
 ・ 研究開発促進(自動運転、感染症検査の迅速化技術)
 ・ 非接触、省力化ニーズの高まり (ロボット・AI・衛星データ)
 ・ 展示会、プレゼン手法の変化 (オンライン会議)
 ・ 商品開発や創業に係る資金、労働力の確保難

・ テレワーク ・ 地方勤務 ・ オンライン会議・研修
 ・ 外国人材の確保難 ・ 離職・休業者の増
 ・ 就活スタイル等の変化

ポストコロナ (残る変化・方向性の仮説)

・ 北海道ブランドの浸透・販路拡大?
 ・ EC・テイクアウトデリバリーの定着?
 ・ 宅配料理キットの利用増加? ・ DtoC?
 ・ 新たな消費需要、消費者ニーズへの対応?
 ・ 環境志向消費?

・ オンライン等を活用した海外展開?

・ 高付加価値な新しい旅行スタイルの推進?
 ・ 持続可能な観光?

・ 感染症や災害への対応力強化?
 ・ 非接触型の商品やサービスの創出?
 ・ 就業時間、飲食時間の多様化への対応?
 ・ 事業再生や事業承継の一層の促進?

・ サプライチェーン分散化やサテライトオフィス
 などを活用した企業誘致の推進?
 ・ 先端技術の導入?

・ 感染防止に関する需要拡大分野へのさらなる参入促進?
 ・ 健康寿命、高齢者の自立生活への対応?
 ・ ドローン・衛星データ利用 など先端技術の需要拡大?
 ・ 自動運転や配送ロボットの実用化?
 ・ 新たな情報通信技術基盤の整備?

・ 雇用維持・就業促進の強化?
 ・ 多様な働き方 (テレワーク・兼業・副業等) の推進?
 ・ U・Iターンの促進?